



鏡のマニエリスム — ルネッサンス想像力の側面 ●川崎寿彦

今日のアメリカ作家群像 ●浜野成生

素顔の新言語学 ●安井 稔

自由の聖地 — 日本人のアメリカ ●亀井俊介

ブレイクの世界 — 幻視家の予言書 ●土屋繁子

ジョイスへの道 ●小田 基

書いた、恋した、生きた — ヘミングウェイ伝 ●佐伯彰一

イギリス革命と現代 ●田村秀夫

モールバラ公爵のこと — チャーチル家の先祖 ●白田 昭

アメリカの神話と現実 — パリントン再考 ●大井浩二

フランクリンとアメリカ文学 ●渡辺利雄

スペイン内戦をめぐる — イギリスの1930年代文学 ●小野協一

私説英語教育論 ●中村 敬

ニューゲイト・ノヴェル — ある犯罪小説群 ●北條文緒

英語のスタイル ●豊田昌倫

ディケンズとロンドン ●松村昌家

シェイクスピアの女たち ●青山誠子

ロバート・ロウエル — 放浪と叛逆のポストニアン ●徳永暢三

フィロロジーへの道 ●小野 茂

イギリス小説の現在 ●川口喬一

実存の西部 — ノーマン・メイラー ●野島秀勝

T・S・エリオット — 詩と人生 ●星野美賀子

ミルトンの生涯 ●才野重雄

アメリカ文学におけるユーモア — マーク・トウェインを中心に ●赤尾憲一

アメリカ文学と祝祭 ●武藤脩二

『楽園喪失』 — 思想としての空間 ●藤井治彦

現代の黙示録 — ウィリアム・ゴールディング ●坂本公延

コモンウェルスの文学 ●平野敬一・土屋 哲

ディラン・トマス ●羽矢謙一

ビューイックの木版画 ●平田家就

愛の探求 — シドニーからシェイクスピアへ ●大塚定徳

アーサー・ミラー — 劇作家への道 ●佐多真徳

中世英国の聖書劇 — 神と人へのスペクタクル ●奥田宏子